

# 神戸市立小磯記念美術館 出張授業のご案内

## つながる美術館と学校

郷土の画家“小磯良平”や“神戸ゆかりの画家”の作品映像や掲示教材を持ってうかがいます。美術館までは遠くて時間も費用もないけれど、鑑賞の授業をしたいというときには、ぜひお申込みください。実情に合わせてご相談の上、授業を作ります。

こんなときにご利用ください

- ◆学校で鑑賞学習を取り入れてみたい!
- ◆表現につながる鑑賞学習をしてみたい!
- ◆画家の描いた作品から神戸を探る授業をしてみたい!
- ◆美術館に行くのは遠くて、時間も費用もない・・・

**申込み方法**    **ファックスでお申込みください**    **4月8日**以降随時受け付け

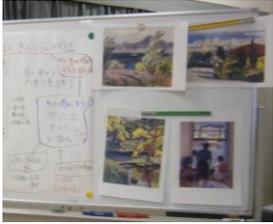
- ・日程調整後、連絡させていただきます。(1週間以内に連絡がない場合はお問合せください)
- ・授業内容の相談・日程の調整・質問なども、お気軽にお電話ください。
- ・美術・図画工作科だけでなく、道徳、生活科、総合的な学習、国語科などでも使える鑑賞教材の申込みも受け付けています。

神戸市立小磯記念美術館 教育普及担当    TEL:078-857-5880    FAX:078-857-3737

### ●鑑賞の授業例 (見る きく 話す 考える)

「テーマ」時間 対象	使用教材	○ねらい ・児童の活動 ※発展学習
<p>「作品の中のひみつを探ろう」</p> <p>30分～</p> <p>発達段階にあわせて</p> 	<p>ギャラリートークしたい作品と内容のスライドまたは、掲示用教材</p> 	<p>○友達の考えとの違いに気づいたり、話し合ったりする楽しさを知る。</p> <p>・「何が描かれているのかな？」からはじめ、作品から見つけたこと、感じたこと、考えたことを、<u>対話</u>によって伝え合う。</p> <p>※こんな授業も…</p> <p>◇美術館を訪れる前の事前学習とギャラリートーク体験。</p> <p>◇アートカードを使う活動や、描いたり作ったりする表現活動と組み合わせる。</p> <p>◇戦時中の作品を鑑賞し、社会科の学習や平和学習につなげる。</p>

●鑑賞の授業例 (見る きく 話す 考える)

「テーマ」 時間 対象	使用教材	○ねらい ・児童の活動 ※発展学習例
<p>「小磯さんの 工夫は・・・？」 (静物画を描く 前に)</p> <p>1 時間 高学年～</p>	<p>小磯良平の静物画のスライドまたは は掲示用教材</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話型の鑑賞をした後、「小磯さんはどんな工夫をしているのかな？」という投げかけにより、構図に注目する。モチーフの並べ方、置き方などに気付き、自分が描くなら・・・と考える。</li> <li>○作品の表し方の工夫や作者の思いに気づく。</li> <li>※発展：「大切にしたいもの」「思い出のものたち」など、描画表現へとつなげる。</li> </ul>
<p>「描かれた 風景から・・・」 (風景画を描く前に)</p> <p>1 時間 高学年～</p>	<p>小磯良平や神戸ゆかりの画家の風景画のスライドまたは掲示用教材 koisosan カード、コレクションカード、など</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「季節」「気温」「風」「時間」「天気」「雰囲気」「音」「におい」など五感を働かせながら風景を楽しむ。</li> <li>○「遠い」「近い」の秘密をみつけたり、「見下ろす」「見上げる」など場所選びのポイントや構図について気づく。</li> <li>○神戸ゆかりの風景を描いた画家の作品を味わうことで、郷土を愛する心を育てる。</li> <li>※発展：「思い出の学校」「私の風景」など、描画表現へとつなげる。</li> </ul>
<p>「川西さんの作品から 神戸を知ろう」</p> <p>1 時間 中学年～高学年</p>	<p>川西英「神戸百景」のスライド</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川西英の作品をじっくりと味わい、見つけたこと感じたことを話し合う。</li> <li>・作品の表し方の工夫や作者の思いなどを考える。</li> <li>○川西英が描いた神戸のまちを鑑賞することで、自分の住む神戸の良さを再確認する (「港めぐり」など、校外学習の前にもおすすめ)</li> </ul>
<p>「アートゲームをしよう」</p> <p>30 分～ 発達段階にあわせて</p>	<p>スライドまたは koisosan カード、 コレクション+カード</p> 	<p>A:(4～5 人グループで)鑑賞カードを使ったゲーム「アートでしりとり」「お話をつくろう」などを楽しむ。</p> <p>B:古今東西の様々な美術作品のスライドを使ったゲーム「アートとじゃんけん」「ぼくの絵をさがして」などを楽しむ。(幼稚園児や低学年におすすめ)</p> <p>○いろいろな美術作品があることを知り、美術作品を見る楽しさを味わう。</p>
<p>「まるをさがして…」</p> <p>1 時間～ 幼稚園～低学年</p>	<p>絵本またはスライド</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな「まる」を表した作品を見て「まる」に興味を持ち、教室の中の「まる」をさがす。</li> <li>○身近なものの形を意識したり、友だちの感じ方の違いやよさを認め合ったり、今までとは違う見方を楽しむ。</li> <li>※発展：自分だけのとっておきの「まる」を描く。 (鑑賞 1 時間+表現 1 時間)</li> </ul>

# 鑑賞+表現の授業例 (見る きく 話す 考える あらわす)

「テーマ」 時間 対象	使用教材	○ねらい ・児童の活動 ※発展学習例
<p>「絵になっちゃおう」</p> <p>1 時間…低学年 ※2 時間…中学年</p> 	<p>スライドまたは掲示用教材、コレクションカード、など</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物の関係や様子を対話によって伝え合いながら、ポーズや重なりを自分の身体で再現してみる。</li> <li>※(4~5人グループで) koisosan カードとコレクションカードから作品を選び、グループごとに心情や状況を想像し、身体を使って再現する。</li> <li>○発表することで、より作品を深く味わい友達と共有する。</li> </ul>
<p>「なんだろう?この形」</p> <p>2 時間 低学年~</p>	<p>岡田謙三 《木の精》スライド</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>岡田謙三《木の精》に使われている色の数や切った形に注目し、色画用紙の組み合わせを考え(見立て)自分だけの作品をつくる。</li> <li>○作品を見ること、自分の想像した作品をつくることを通して、友達との感じ方の違いやよさに気づき、認め合う。</li> </ul>
<p>「どんな音が聞こえてきそう?」</p> <p>2 時間 中学年~</p>	<p>中島節子《トリオ》 スライドまたは掲示用教材</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>中島節子《トリオ》から、聞こえてきそうな音や声、描かれている場所や様子など、想像をふくらませる。特に描かれている手や指の表情に注目し、自分の手をクロッキーする。</li> <li>○作品を見ること、自分の感じ取った形を表現することを通して、友達との感じ方の違いやよさに気づき、認め合う。</li> </ul>
<p>「風ナンバー3をあらわそう」</p> <p>2 時間 中学年~中学生</p>	<p>岡田謙三《風》《風ナンバー2》 スライドまたは掲示用教材</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>岡田謙三《風》《風ナンバー2》について話し合い、岡田さんの表したかったこと(主題)にせまる。</li> <li>自然をテーマに作品をつくる。(児童、生徒に合わせて、表現する描画材や技法を選ぶことができます)</li> <li>○作品を見ること、自分の想像した作品をつくることを通して、友達との感じ方の違いやよさに気づき、認め合う。</li> </ul>
<p>「季節を見つけに行こう」</p> <p>~春みつけ、秋みつけ~</p> <p>2 時間 1・2 年 図工科+生活科 (鑑賞 20 分、観察・または製作 50 分~60 分)</p>	<p>小磯良平 《庭》 スライドまたは掲示用教材</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>小磯良平《庭》をじっくりと味わい、見つけたこと感じたことを話し合う。</li> <li>校庭に目を向け、季節の変化をみつけることを楽しむ。</li> <li>○作品に親しみ、季節・音・風・気温・においなど五感を働かせて作品を味わう。</li> <li>○友だちと意見交換することで、互いのよさに気付く。</li> </ul>